



史上最大級

天井に迫る首、壁を突き破りそうな尾…ディプロドクスの巨大さに息をのむ

世界大恐竜展 岡山シティミュージアム

迫力、リアル目輝かせ

集まれ未来の恐竜博士。岡山シティミュージアム(岡山市北区駅元町)で開催中のこくみん共済coop岡山スペシャル「よみがえる地球の覇者! 世界大恐竜展」は、最新の研究成果に基づく約90点を展示。迫力の全身骨格やリアルに再現された生体模型に、恐竜ファンの子どもたちが目を輝かせる。

まず目に飛び込むのは、全長27mの植物食恐竜ディプロドクス。20mを超える標本は岡山初登場で、史上最大級の陸生生物の威容を体感できる。頭部のみを復元したスピノサウルスは、水辺にすんで魚が主食だった。驚くほど巨大な口に「ワ

ニそっくりでかっこいい」と倉敷市の幼稚園児高橋陽仁ちゃん(6)。

人気のステゴサウルスと天敵だった肉食恐竜アロサウルスのにらみ合いは、当時の緊張感まで再現。モンゴルで恐竜化石調査を続ける石垣忍岡山理科大学教授らによるギャラリートツアーもあり、山口県岩国市の小学2年上田崇高君(7)は「ステゴの背中の骨板の秘密を教えてもらったよ。本物の化石調査にも行ってみたい」と声を弾ませた。

山陽新聞社など主催。9月1日まで。7月22、29日、8月5、19日休館。ギャラリートツアーは8月3、10、12日の午前10時半、午後1時半にも予定する。(多田和代)



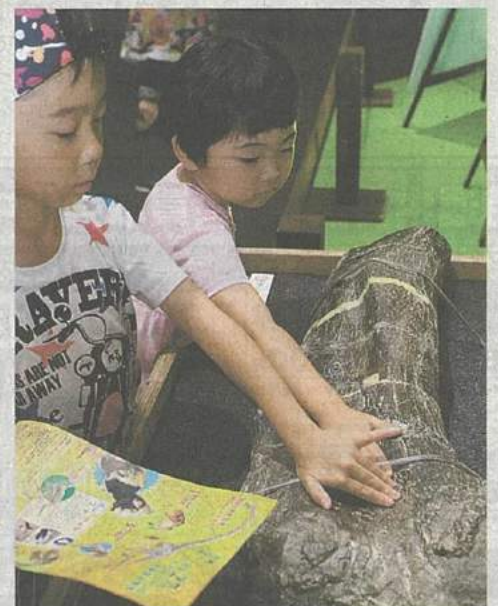
食べちゃうぞ

大きく開けた口から鋭い歯がぞくぞくと見えてくる。スピノサウルスの模型はリアル



にらみ合う

アロサウルス(奥)とステゴサウルスの骨格標本は一触即発の臨場感を演出する



やってみよう

化石に触れたり、アンモナイトを探したり、恐竜のあごの力を学んだり。体験コーナーも人気を集める



迫るプレデター

サハラのプレデター(捕食者)の異名を持つカルカロドントサウルスの生体模型は今にも襲ってきそう



教えて恐竜博士

岡山理科大学の石垣教授によるギャラリートツアーに興味津々で聞き入る子どもたち